竹島貸下海驢漁業書類

竹島関係
永久保存

群1
1110

779

明治三十六年中ノ調査

周吉郡西郷町大字西町

営業人　中井養三郎

渡航ノ年月日

明治三十六年五月廿八日西郷港出帆仝月十四日竹島着

従業一切ノ状況

一参拾六年五月廿八日着島ノ際ハ他ニ漁猟者一人モナク全島ノ海岸ハ全ク海驢ヲ以テ被ハレ頗ル捕獲ニ容易ナリシニヨリ漁猟者等狂喜シ漁舎ヲ適地ニ構ヘ各種ノ猟具ヲ用ヒ種々捕獲ニ試ミ及ヒ猟品製造ニ就キ種々研究ヲ遂ケタリ

一本島海驢ハ其上陸スルモノヲ陸上ニテ銃殺スルヲ最モ適法トスルモ全島ハ四周断岸ニシテ巡猟スベカラス且ツ危険多キヲ以テ其

海驢ノ捕獲ニハ猟艇ヲ岩陰ニ漕キ着ケ射手ハ上陸シ岩陰ヲ潜行接近シ脳天ヲ狙撃スルニアラサレバ決シテ捕獲出来サルナリ

一 銃声ノ一発毎ニ其近傍一帯ニ上陸セル海驢ハ一斉海中ニ没シテ一旦逃遁スルモ数時間経過ノ後ハ必ス再ヒ上陸ス

一 銃声ノ響音ノ範囲ト再ヒ上陸スル時間トハ捕獲開始ノ当初ト否トニ由テ大ニ廣狭遅速ヲ異ニセリ仍テ頻繁ニ巡猟スル時ハ海驢ハ上陸スルノ暇ナク偶上陸スルモ微ニ銃声ヲ聞キ遥カニ艇影ヲ望ミ直ニ逃遁シ去リ容易ニ接近シテ捕獲スヘカラサルニ至レリ

一 漁猟母船カ猟品ヲ満載シ次回目販航セントスル際穏地郡五箇村大字久見石橋松太郎ナル者ノ従業者古川幸太井口龍太等人夫ヲ督シテ来着シ一舎ヲ構ヘ海驢ノ捕獲ニ従事セリ

一 今年漁猟者ハ他ニ石橋組ノアルノミニシテ各自母船壱隻ニ猟艇一隻ヲ使用シ種々交渉協議シテ漁猟スルモ尚ホ動モスレハ相妨クルノ事アリテ空シク海驢ヲ駆逐シ徒ラニ捕獲ヲ誤ルコト少ナカラサルナリ

一 今年ハ創業ニシテ諸事都テ試験ニ属シタルヲ以テ両組共海驢ノ捕獲少ナキノミナラス猟品販賣ノ明カナラサル為メ資金運轉渋滞シ又猟法及製造法ノ詳カナラサル為メ種々雑多ノ器具準備且新調スルノ必要アリタルヲ以テ共ニ大ナル損害ヲ免レサルニ至レリ

従業者ノ姓名

小原六蔵　　島谷植造　　菊田源太郎
小濱文次郎　　新宅菊蔵　　川上松太郎
大山万蔵　　小古利久助　　山見友次郎
菊本兼吉　　池本吉太郎　　中山万五郎
外ニ姓名不詳ノモノ三名合計十五名

資本金ノ概畧

一金壱千五百円　資本金
但漁猟船弐艘猟艇弐隻銃三丁實包二千銛五十本
方六尺大竹箱五個鉈丁三十平釜二個大樽大本漁舎
築造ノ材料製造小屋築造材料費及米塩給料漁
猟業石油空鑵等三ケ月分ノ営業費

漁獲物ノ處理及價格ノ總額

一漁獲物ハ皮及脂肪ヲ採取スルノ外骨肉ハ概シテ一切遺棄セリ偶々之レガ採製ヲ試ミルコトアルモ粗悪ニシテ脂肪ハ採取スト雖モ其製造極メテ不完全ニシテ其製品多クハ油ハ量極メテ少ナク質極メテ粗ナリ是レ即チ競争濫獲ノ弊トシテ捕獲ノ競争ニ全力ヲ傾注スルノ必要アリ自然製造ヲ粗漏ニスルヲ免レス特ニ脂肪骨肉等ヲ完全ニ採取セントセバ専ラ文学術ヲ應用シ種々ノ器械ヲ備ヘ装置ヲ設クルヲ要スルニハ相当ノ資本金ヲ固定セザルベカラス然ルニ競争濫獲ノ為メ蕃殖ノ絶滅翌年ヲ期セザルノ如斯資本ヲ固定スルハ営業経済上ニ於テ当業者ノ決シテ爲シ得ル処ニアラス
一皮ハ塩漬トスルヲ適当トス
一皮ノ販路ハ今年ニ於テ殆ンド苦心シテ大阪ニ販路ヲ求メタリ
一今年中ノ漁獲物ノ價格總額ハ八百四拾九円拾参銭ナリ

24

島根縣隠岐島廳